

# Dell™ 3008WFPフラットパネルモニターユーザーズガイド

## 製品の特徴

[製品の特徴](#)  
[部品とコントロールの確認](#)  
[モニター仕様](#)  
[ユニバーサルシリアルバス\(USB\)インターフェイス](#)  
[プラグアンドプレイ機能](#)  
[カードリーダーの仕様](#)  
[保守のガイドライン](#)

## モニターのセットアップ

[モニターの接続](#)  
[ケーブルの整理](#)  
[サウンドバーの取り付け\(オプション\)](#)  
[スタンドを取り外す](#)  
[スタンドを取り付ける](#)

## モニターの操作

[前面パネルコントロールの使用](#)  
[オンスクリーンディスプレイ\(OSD\)の使用](#)  
[最適解像度を設定する](#)  
[Dellサウンドバー\(オプション\)を使う](#)  
[傾き、回転および高さを利用する](#)




## 問題を解決する

[モニターのトラブルシューティング](#)  
[一般的問題](#)  
[ビデオの問題](#)  
[製品別の問題](#)  
[ユニバーサルシリアルバス固有の問題](#)  
[Dell™ サウンドバーのトラブルシューティング](#)  
[カードリーダーのトラブルシューティング](#)

## 付録

[安全に関する注意事項](#)  
[FCC通知\(米国のみ\)](#)  
[Dellに問い合わせ](#)

## 注、注記および注意

-  **注意:** 注は、コンピュータをよりよく使いこなすための重要な情報を表します。
-  **注記:** モニターが正常に作動しない場合、特に異常な音や臭いが発生する場合は、ただちに電源プラグを抜いて、デル テクニカルサポート に連絡してください。
-  **注意:** 注意は、材質破損、身体の怪我、または死につながる可能性を示します。

---

本文中の情報は、通知することなく変更することがあります。  
© 2007-2009 Dell Inc. 複製を禁ず。

Dell社の書面による許可なしには、いかなる方法による複製も 厳禁します。

本テキストで使用した商標 本テキストで使用した商標。 Dell および Dell ロゴは Dell Inc の商標です。; Microsoft、Windows、Windows NT は Microsoft Corporation の登録商標です。Adobe は Adobe Systems Incorporated の商標で、それぞれ特定の管轄区域で登録されています。

マークおよび名称を請求する団体またはその製品を参照するために、本文中で、その他の商標および商号を使うことがあります。Dell社は、自社以外の商標および商号の所有権を放棄します。

Model 3008WFPt

2009年12月

Rev. A05

[目次ページに戻る](#)

## モニターについて

### Dell™ 3008WFPフラットパネルモニターユーザーズガイド

- [製品の特徴](#)
- [部品とコントロールの確認](#)
- [モニター仕様](#)
- [ユニバーサルシリアルバス\(USB\)インターフェイス](#)
- [プラグ・アンド・プレイ機能](#)
- [カードリーダーの仕様](#)
- [保守のガイドライン](#)

## 製品の特徴

3008WFP フラットパネルディスプレイにはアクティブマトリックス、薄膜トランジスタ(TFT)、液晶ディスプレイ(LCD)が搭載されています。モニターには、以下が含まれます。

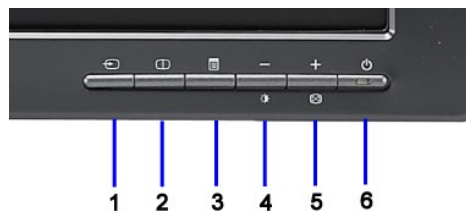
- 30インチ(756.228 mm)表示可能領域のディスプレイ。
- 2560 x 1600解像度、さらには低い解像度の場合は全画面サポート。
- 傾き、旋回および垂直拡張機能。
- 取り外し可能台座とVESA 100 mm取り付け穴で柔軟な取付が可能。
- システムでサポートされている場合、プラグアンドプレイ機能。
- オンスクリーンディスプレイ(OSD)調整で、セットアップと画面の最適化が容易。
- ソフトウェアとマニュアルCDIには、情報ファイル(INF)、画像カラーマッピングファイル(ICM)、および製品マニュアルが含まれています。
- セキュリティロックスロット
- 9-in-2 USB 2.0 カードリーダー (CF I/II、xD、SD/Mini SD、MS/HSMD/MSPRO、MMC)
- VGA、DVI-D、DisplayPort、HDMI、コンポーネント、Sビデオ、コンポジットビデオ信号をサポートします。
- ピクチャバイピクチャ (PBP) 選択モードのサポート。

## 部品とコントロールの確認

### 正面図



正面図

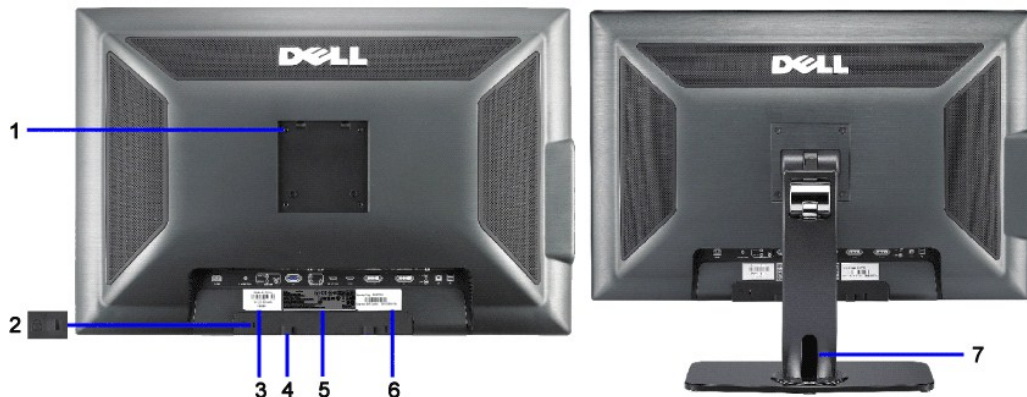


前面パネルのコントロール

ラベル	説明
1	ビデオ入力選択
2	ピクチャバイピクチャ (PBP) 選択
3	OSD メニュー/選択

- 4 明るさおよびコントラスト / ダウン (-)
- 5 自動調節/アップ (+)
- 6 電源ボタン(電源ライトインジケータ付き)

## 後方図

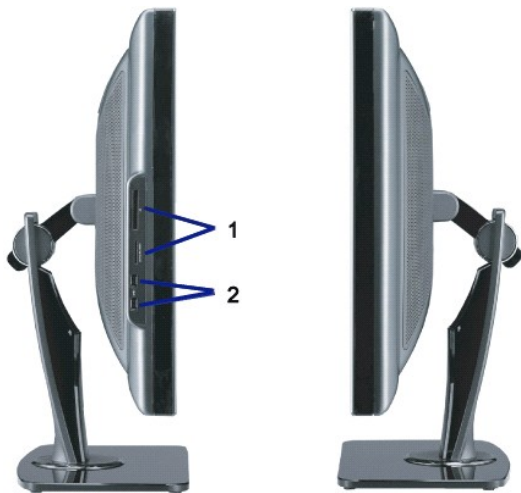


### 後方図

### 背面図(モニタのスタンド付き)

ラベル	説明	使用
1	VESA取付ホール(100mm)(取り付けたベースプレートの背面)	モニターを取り付ける。
2	セキュリティ・ロック・スロット	モニタを固定する。
3	バーコード・シリアル番号ラベル	技術サポートを受けるために Dell に連絡する。
4	Dellサウンドバー取付ブラケット(2)	オプションの Dell サウンドバーを取り付ける。
5	規制定格ラベル	規制承認を表示します。
6	サービスタグラベル	Dell のテクニカルサービスに問い合わせが必要な場合は、このラベルを参照してください。
7	ケーブルホルダー	ケーブルをホルダに入れて、ケーブルの操作をしやすくします。

## 側面図



### 左側面

### 右側面

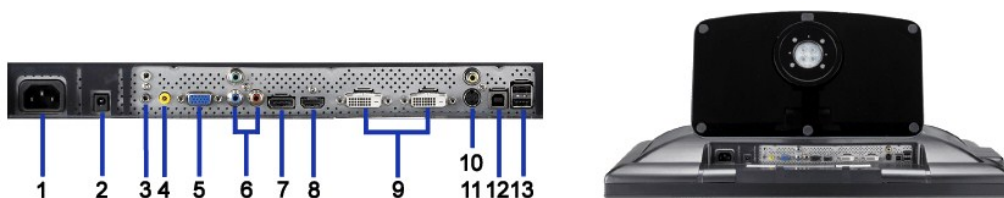
### ラベル説明

- 1 カードリーダーの仕様 カードリーダー: 詳細 [はmカードリーダーの仕様を参照してください。](#)
- 2 USBダウンストリームポート。



**注意:** モニタで USB コネクタを使用するには、USB ケーブルをコンピュータに接続し、USB アップストリームコネクタをモニタに接続します。

## 底面図



ラベル	説明	使用
1	AC電源コードコネクタ	電源コードを壁のコンセントに接続します。
2	DellサウンドバーのDC電源コネクタ	サウンドバー向けの電源コードを接続します (オプション)。
3	オーディオコネクタ	HDMI 2.0チャンネルまたは 5.1 チャンネルオーディオ出力デバイスに接続します。 正面の右左のチャンネル出力を緑のコネクタに接続します。 2.0/2.1 チャンネルオーディオ接続の場合、このコネクタを使用します。
4	オーディオコネクタ	センター/サブウーファチャンネル出力を黄のコネクタに接続します。 5.1 チャンネルオーディオ接続の場合、このコネクタを使用します。
5	VGAコネクタ	コンピュータのVGAケーブルをモニタに接続します。
6	コンポーネントビデオコネクタ	DVD プレーヤー、セットトップボックス、またはケーブルテレビボックスなどのデバイスを接続します。
7	DisplayPort コネクタ	コンピュータのDisplayPortケーブルをモニタに接続します。
8	HDMI コネクタ	DVDプレーヤーまたはセットトップボックスなどのデバイスを接続します。
9	DVIコネクタ	コンピュータのDVIケーブルをモニタに接続します。
10	コンポジットビデオコネクタ	このコネクタを使ってVCRまたはDVDプレーヤーなどのデバイスを接続します。
11	Sビデオコネクタに接続している場合、オーディオコネクタを使用してください	このコネクタを使用してビデオゲームシステム、デジタルカメラ、またはDVDプレーヤーなどのデバイスに接続します。
12	USBアップストリームポート	モニタに接続されたUSBケーブルをモニターとコンピュータに接続します。このケーブルを接続すると、モニターの側面および底面にあるUSBコネクタを使用することができます。
13	USBダウンストリームポート	USBデバイスを接続します。

## モニター仕様

次のセクションでは、さまざまな電源管理モデルとモニタのさまざまなコネクタのピン割り当てについて説明します。

### 電源管理モード

ESAのDPM™互換ディスプレイカードまたはソフトウェアがPCIにインストールされている場合、モニタは不使用時電力消費を自動的に低減します。これは電力節約モードと呼ばれます。コンピュータがキ入力を検出すると、モニタは自動的に機能を回復します。この自動電力節約機能の電力消費と信号規格は以下の表の通りです:

VESAモード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源インジケータ	電源消費
通常運転(DellサウンドバーおよびUSBが有効になっている場合)	有効	有効	有効	青	250W(最大)
通常運転	有効	有効	有効	青	163W(一般)
無効モード	無効	無効	空白	黄色	2W以下
スイッチを切る	-	-	-	オフ	1W以下

OSD は通常操作モードでのみ機能します。[メニュー]または[プラス]ボタンをアクティブオフモードで押すと、次のメッセージのどれかが表示されます。

アナログ入力カイン省電力モード。コンピュータの電源ボタンまたはキーボードかマウスの任意のキーを押します。  
または  
デジタル入力カイン省電力モード。コンピュータの電源ボタンまたはキーボードかマウスの任意のキーを押します。

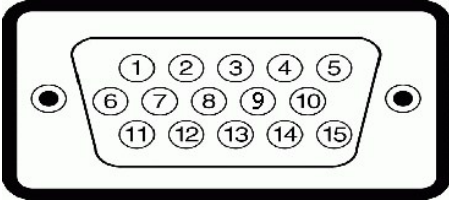
コンピュータとモニタをオンにして、OSDにアクセスします。

**注意:** 230v/50HzでDisplayPortコネクタを使用している間、スリープモードに入るとDisplayPortはVGAまたはDVI-Dより約0.25W多い電力を消費します。

\* オフモードでのゼロ電源消費は、モニターからのメインケーブルを外してはじめて、有効になります。

## ピン割当

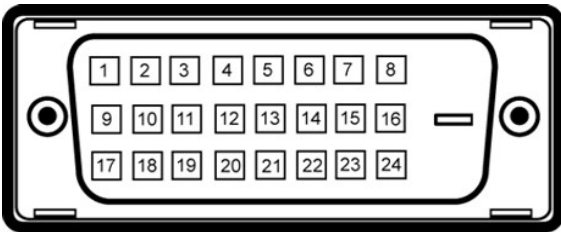
### VGAコネクタ




ピン番号 15-pin側面信号ケーブルのモニター側面

1	ビデオ-赤
2	ビデオ-緑
3	ビデオ-青
4	アース
5	自己テスト
6	アース-R
7	アース-G
8	アース-B
9	+5V
10	DDC-アース
11	アース
12	DDC-SDA
13	H-同期
14	V-同期
15	DDC-SCL

#### DVIコネクタ



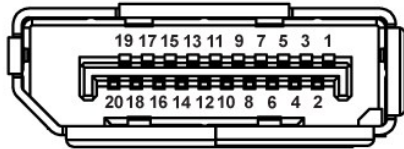
 注意: ピン1は左上にあります。

ピン番号 24-pin側面信号ケーブルのモニター側面

1	T.M.D.S. データ2-
2	T.M.D.S. データ2+
3	T.M.D.S. データ2/4シールド
4	T.M.D.S. データ4-
5	NT.M.D.S. データ 4+
6	DDCクロック
7	DDCデータ
8	接続なし
9	T.M.D.S. データ1-
10	T.M.D.S. データ1+
11	T.M.D.S. データ1/3シールド
12	T.M.D.S. データ3-
13	T.M.D.S. データ 3+
14	+5V電源
15	自己テスト
16	ホットプラグ検出
17	T.M.D.S. データ0-
18	T.M.D.S. データ0+

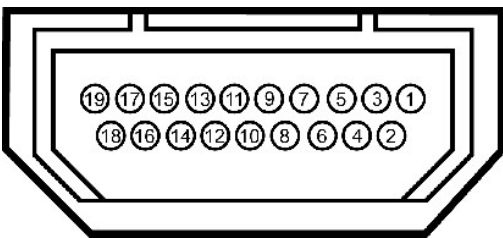
19	T.M.D.S. データ0/5シールド
20	T.M.D.S. データ5-
21	T.M.D.S. データ5+
22	T.M.D.S. クロックシールド
23	T.M.D.S. クロック+
24	T.M.D.S. クロック-

### 20ピン DisplayPort コネクタ



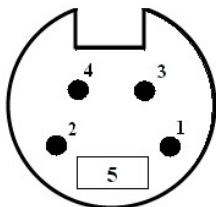
ピン番号	接続された信号ケーブルの 20 ピン側
1	ML レーン 3(n)
2	アース
3	ML レーン 3(p)
4	ML レーン 2(n)
5	アース
6	ML レーン 2(p)
7	ML レーン 1(n)
8	アース
9	ML レーン 1(p)
10	ML レーン 0(n)
11	アース
12	ML レーン 0(p)
13	アース
14	アース
15	補助 CH (p)
16	アース
17	補助 CH (n)
18	ホットプラグ検出
19	復帰
20	DP パワー

### 19ピン HDMI コネクタ



ピン番号	接続された信号ケーブルの 19 ピン側 (ケーブルは含まれません)	ピン番号	接続された信号ケーブルの 19 ピン側 (ケーブルは含まれません)	ピン番号	接続された信号ケーブルの 19 ピン側 (ケーブルは含まれません)
1	T.M.D.S. データ 2-	9	T.M.D.S. データ 0-	17	DDC/CEC グランド
2	T.M.D.S. データ 2 シールド	10	T.M.D.S. クロック +	18	+5V パワー
3	T.M.D.S. データ 2+	11	T.M.D.S. クロック シールド	19	Hot Plug Detect
4	T.M.D.S. データ 1+	12	T.M.D.S. クロック -		
5	T.M.D.S. データ 1 シールド	13	CEC		
6	T.M.D.S. データ 1-	14	予約済み(N.C.デバイス上)		
7	T.M.D.S. データ 0+	15	SCL		
8	T.M.D.S. データ 0 シールド	16	SDA		

### SDビデオコネクタ



ピン番号	接続された信号ケーブルの 5 ピン側 (ケーブルは含まれません)
1	アース
2	アース
3	LUMA
4	色度
5	アース

### コンポジットビデオコネクタ



Luma コンポジット色度

### コンポーネントビデオコネクタ



ピン番号	接続された信号ケーブルの 3 ピン側 (ケーブルは含まれません)
1	Y (輝度信号)
2	Pb (色差分信号)
3	Pr (色差分信号)

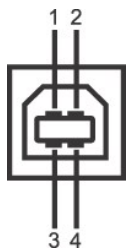
## ユニバーサルシリアルバス(USB)インターフェイス

本項では、モニターの左側で使用できるUSBポートについて説明します。

**注意:** このモニターは、高速認定USB2.0インターフェースをサポートしています。

移動の速度	データ率	電源消費
高速	480Mbps	2.5W(最大、各ポート)
全速度	12Mbps	2.5W(最大、各ポート)
低速度	1.5Mbps	2.5W(最大、各ポート)

### USB アップストリームコネクタ

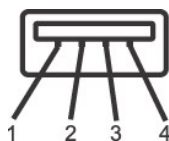


ピン番号	4ピン(コネクタの側面に表示)
1	DMU
2	VCC

3	DPU
4	アース

---

## USB ダウンストリームコネクタ





ピン番号	4ピン(コネクタの側面に表示)
1	VCC
2	DMD
3	DPD
4	アース

---

## USBポート:

- 1 アップストリーム-後方
- 1 4ダウンストリーム-後方に2つ、左側面に2つ

 **注意:** USB2.0機能には、2.0対応コンピュータが必要です。

 **注意:** モニターのUSBインターフェースは、モニターの電源がオンになっている場合(あるいは電源セーブモードで)のみ作動します。モニターをオフして、もう一度オンにすることで、USBインターフェースが正常機能に回復させます。

---

## プラグ・アンド・プレイ機能

プラグ・アンド・プレイ互換システムで、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイ・データ・チャンネル(DDC)プロトコルを使って、コンピュータシステムに拡張ディスプレイ特定データが、自己設定により、モニター設定を最適化します。必要な場合は、違う設定を選択できます。モニタ設定の変更の詳細については、「[モニタの操作](#)」を参照してください。

---

## カードリーダーの仕様

### 概要

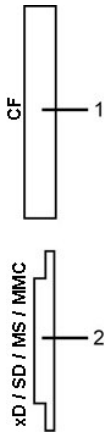
- 1 フラッシュメモリのカードリーダーは USB ストレージデバイスで、情報をメモリカードから読み込んだり、メモリカードに書き込んだりします。
- 1 Windows® 2000、XP および Vista では、Windows 7、フラッシュメモリのカードリーダーを自動的に認識します。
- 1 取り付けが済み認識されると、それぞれのメモリカード(スロット)は個別のドライブ/ドライブ文字として表示されます。
- 1 標準のファイル操作(コピー、削除、ドラッグアンドドロップなど)はすべて、このドライブで実効できます。

### 特長

フラッシュメモリのカードリーダーには次の特徴があります。

- 1 Supports Windows 2000、XP および Vista、Windows 7 オペレーティングシステム。
- 1 Dell では、Windows 9X をサポートしません。
- 1 マストレージクラスデバイス(Windows 2000、XP および Vista の元ではドライブは不要です)。
- 1 USB-IF 認証。
- 1 さまざまなメモリカードメディアをサポートします。





次の表では、サポートするメモ리카ードの種類が一覧表示します。

スロット番号	フラッシュメモ리카ードのタイプ
1	コンパクトなフラッシュタイプ I/II カード (CF I/II)/CF フォームファクタ ATA ハードドライブ (USB 2.0 バス接続)
2	xD メモ리카ード メモリスティックカード (MS)/高速メモリスティック (HSMS)/メモリスティック Pro カード (MS PRO)/メモリスティック Duo (アダプタ付き) セキュアデジタルカード (SD)/ミニセキュアデジタル (アダプタ付き)/ TransFlash カード (アダプタ付き) マルチメディアカード (MMC)/小型マルチメディアカード (アダプタ付き)

## フラットパネル仕様

スクリーン・タイプ	有効マトリックス - TFT LCD
画面寸法	30インチ (30インチ表示可能画像サイズ)
事前設定ディスプレイ領域:	
水平	641.28 mm (25.25 インチ)
垂直	400.80 mm (15.78 インチ)
ピクセル・ピッチ	0.2505 mm
表示角度	178°(垂直) タイプ、178°(水平) タイプ
ルミネンス出力	370 CD/m <sup>2</sup> (タイプ)
コントラスト比	1000 ~ 1 (タイプ)
ダイナミックコントラスト	3000 ~ 1(タイプ)
面板コーティング	ハードコート3Hによるざらつき防止
バックライト	Wide CCFL (9) バックライトシステム
色域(標準)	117%*
応答時間	8ms 標準 (グレー対グレー) および 12ms 最大 (黒対白)

\* 3008WFP色域(標準)はCIE1976 (117%)およびCIE1931 (100.6%)テスト基準に基づいています。

## 解像度仕様

アナログ信号入力

水平走査幅	30KHz~94HKz
垂直走査幅	56Hz~86Hz
事前設定の最適解像度	60Hzで1920 x 1200
事前設定の最高解像度	60Hzで1920 x 1200

デジタル信号入力 (DVI\* デュアルリンクおよび DisplayPort)

水平走査幅	30KHz~112.5 HKz
垂直走査幅	56Hz~86Hz
事前設定の最適解像度	60Hzで2560 x 1600
事前設定の最高解像度	60Hzで2560 x 1600

\* 3008WFPIは、DVI入力を通して最大1920 x 1080の解像度のHDCPコンテンツをサポートします。

## Video Supported Modes

ビデオディスプレイ機能 (HDMI 再生)	480i/480p/576i/576p/720p/1080i/1080p
ビデオディスプレイ機能 (コンポジット再生)	480i/576i
ビデオディスプレイ機能 (Sビデオ再生)	480i/576i
ビデオディスプレイ機能 (コンポーネント再生)	480i/480p/576i/576p/720p/1080i/1080p

## 事前設定ディスプレイ・モード

ディスプレイ・モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル・クロック (MHz)	同期種 (水平/垂直)
VESA, 720 x 400	31.47	70.0	28.322	-/+
VESA, 640 x 480	31.47	60.0	25.175	-/-
VESA, 640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA, 800 x 600	37.88	60.0	40	+/+
VESA, 800 x 600	46.88	75.0	49.5	+/+
VESA, 1024 x 768	48.36	60.0	65.0	-/-
VESA, 1024 x 768	60.02	75.0	78.75	+/+
VESA, 1152 x 864	67.5	75.0	108	+/+
VESA, 1280 x 800	49.7	60.0	83.5	-/+
VESA, 1280 x 1024	64.0	60.0	108	+/+
VESA, 1280 x 1024	80.0	75.0	135	+/+
VESA, 1600 x 1200	75.0	60.0	162	+/+
VESA, 1920 x 1200	74.6	60.0	193.5	-/+
VESA, 2560 x 1600	98.71	60.0	268.5	+/-

## 電氣的仕様

ビデオ入力信号	アナログ RGB, 0.7 ボルト +/-5%、75 オーム入力インピーダンスデジタル DVI-D TMDS での肯定極性、それぞれの差動ラインで 600mV、50 オーム入力インピーダンスで肯定極性; HDMI TMDS、それぞれの差動ラインに対して 600mV、50 オーム入力インピーダンスで肯定極性または差動ペアあたり 100Ohm; Sビデオ、Y 入力 0.7 ボルト (p-p)、C 入力 0.3 ボルト (p-p)、同期 (H+V) 0.3 ボルト (p-p)、75 オーム入力インピーダンス; コンポジット、0.7ボルト (Y+C)、同期 (H+V) 0.3 ボルト、75 オーム入力インピーダンス; コンポーネント、Y 0.7ボルト、Pb、Pr はすべて 0.7ボルト (p-p)、同期 (H+V) 0.3 ボルト、75 オーム入力インピーダンス
同期入力信号	個別水平および垂直同期、電極フリー-TTLレベル、SOG (複合同期オン・グリーン)
AC入力電圧/周波数/電流	100 ~ 240 VAC / 50 または 60 Hz ± 3 Hz / 2.0 A (最大)
インラッシュ電流	0°C で 120V: 42A (最大) 0°C で 240V: 80A (最大)

## 物理特性

コネクタ・タイプ	15-pin D-subミニ、青コネクタ、DVI-D、白コネクタ、HDMI/DisplayPort、黒コネクタ
信号ケーブル・タイプ	デジタル: 取外可能、DVI-D、固定ピン、出荷時はモニターとは別 アナログ: 取外可能、D-Sub、15pins、出荷時はモニターに取付 ハイディフィニショナルメディアインターフェイス: 取り外し可能、HDMI、19ピン (オプション)
寸法 (スタンド付き)	
高さ (圧縮)	25.25 inches (641.28 mm)
高さ (拡張)	15.78 inches (400.80 mm)
幅	27.43 inches (696.67 mm)
奥行き	9.35 inches (237.43 mm)
寸法 (スタンドなし)	
高さ	18.07 inches (459.07 mm)
幅	27.43 inches (696.67 mm)
奥行き	3.76 inches (95.50 mm)
スタンド寸法	

高さ(圧縮)	13.44 inches (341.50 mm)
高さ(拡張)	16.99 inches (431.50 mm)
幅	14.96 inches (380 mm)
奥行き	9.35 inches (237.43 mm)

#### 重さ

重さ(パッケージ含む)	41.41 lbs (18.8 kg)
重さ(スタンド・アセンブリとケーブル含む)	34.36 lbs (15.6 kg)
重さ(スタンド・アセンブリなし) (壁取付またはVESA取付用 - ケーブルなし)	23.57 lbs (10.7 kg)
スタンド・アセンブリの重さ	9.03 lbs (4.1 kg)

## 環境特性

#### 温度:

運転時	5°~ 35°C (41°~ 95°F)
運転停止時	ストレージ: 出荷時 -20° to 60°C (-4° to 140°F) -20°~ 60°C (-4°~ 60.00°C)

#### 湿度:

運転時	10%~80%(結露しないこと)
運転停止時	ストレージ: 5%~90%(結露しないこと) 出荷時: 10%~80%(結露しないこと)

#### 高度:

運転時	3,657.6m (12,000 ft) 最大
運転停止時	12,192 m (1,219,200.00 cm) 最大

#### 熱発散

853.6 BTU/時 (最大)
556.55 BTU/時 (一般)

## 保守のガイドライン

### モニターを清掃する



**警告:** モニターの清掃前には、[安全指示書](#) を読み、従ってください。



**警告:** モニターの清掃前には、電源コンセントからモニター電源ケーブルを外してください。

ベストプラクティスを実現するために、モニタを開梱、洗浄、または操作している間、以下のリストの指示に従ってください。

- 1 静電気防止スクリーンを清掃するには、柔らかい、きれいな布を水で軽く湿らせてください。できれば、特殊スクリーン清掃ティッシュまたは静電気防止コーティングに適して溶液を使用してください。ベンゼン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、または圧縮空気は使用しないでください。
- 1 ぬるま湯で軽く湿らせた布を使用して、モニタを洗浄します。合成洗剤によりモニタの乳白色のフィルムがはがれることがあるため、合成洗剤の使用は避けてください。
- 1 モニタの梱包を開けている間に白いパウダーにお気づきになりましたら、布で拭き取ってください。
- 1 暗色系モニタは明色系モニタよりも傷がつきやすく、傷が白く目立ちやすいので、注意深く取り扱ってください。
- 1 モニタの最高の画像品質を保てるように、ダイナミックに変化するスクリーンセーバーを使用し使用しないときはモニタの電源をオフにしてください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

## 付録

### Dell™ 3008WFP フラットパネルモニターユーザーズガイド

- [安全指示](#)
- [米国連邦通信委員会\(FCC\)通告\(米国内のみ\)およびその他規制に関する情報](#)
- [Dellへのお問い合わせ](#)



#### 警告: 安全指示



**警告:** このマニュアルで指定された以外のコントロール、調整、または手順を使用すると、感電、電氣的障害、または機械的障害を招く結果となります。

### 米国連邦通信委員会(FCC)通告(米国内のみ)およびその他規制に関する情報

米国連邦通信委員会(FCC)通告(米国内のみ)およびその他規制に関する情報に関しては、規制コンプライアンスに関するウェブページ[www.dell.com/regulatory\\_compliance](http://www.dell.com/regulatory_compliance)をご覧ください。

### Dellへのお問い合わせ

米国のお客様の場合、800-WWW-DELL (800-999-3355)にお電話ください。



**注:** インターネット接続をアクティブにしていない場合、仕入送り状、パッキングスリップ、請求書、またはDell製品カタログで連絡先情報を調べることができます。

Dellでは、いくつかのオンラインおよび電話ベースのサポートとサービスオプションを提供しています。利用可能性は国と製品によって異なり、お客様の居住地域によってはご利用いただけないサービスもあります。Dellの販売、技術サポート、または顧客サービス問題に連絡するには:

1. [support.dell.com](http://support.dell.com) にアクセスします。
2. ページ下部の Choose A Country/Region [**国/地域の選択**]ドロップダウンメニューで、居住する国または地域を確認します。
3. ページ左側の Contact Us [**連絡先**]をクリックします。
4. 必要に応じて、適切なサービスまたはサポートリンクを選択します。
5. ご自分に合った Dell への連絡方法を選択します。

[目次ページに戻る](#)

[目次に戻る](#)


## モニターのセットアップ

Dell™ 3008WFPフラットパネルモニターユーザーズガイド

---

### インターネットにアクセスして Dell™ デスクトップコンピュータまたは Dell™ ノート PC を使用している場合

1. Dell サポートサイト (support.dell.com) から、グラフィックスカード用の最新ドライバをダウンロードしインストールします。support.dell.com。
2. 解像度を 1920 x 1200/2560 x 1600 に設定します。

 **注:** 解像度を 1920 x 1200/2560 x 1600 に設定できない場合、Dell™ に連絡してこれらの解像度をサポートするグラフィックスアダプタを調べてください。

---

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

## モニタのセットアップ

Dell™ 3008WFPフラットパネルモニタユーザーズガイド

---


### 非 Dell™ デスクトップコンピュータ、ノート PC、またはグラフィックカードを使用している場合

Windows XPでは:

1. デスクトップを右クリックし、**画面のプロパティ**をクリックします。
2. **設定**タブを選択します。
3. **詳細設定**を選択します。
4. **アダプタ**タブを選択します。 **アダプタタイプ**では、システムのグラフィックスアダプタを一覧表示します。
5. グラフィックスカード製造元の Web サイトから最新ドライバをダウンロードしインストールしてください。(ATI/NVIDIA グラフィックスカード用のドライバは、www.ATI.com/www.NVIDIA.com) からダウンロードできます。(www.ATI.com/www.NVIDIA.com.)
6. 解像度は、アナログ入力の場合は 1920x1200 に、デジタル/Displayport 入力の場合は 2560x1600 に設定してください。

Windows Vista® あるいはWindows 7では:

1. デスクトップ上で右クリック、**カスタマイズ**をクリックします。
2. **ディスプレイ設定の変更**をクリックします。
3. **詳細設定**をクリックします。
4. ウィンドウ上部の説明から、グラフィックスコントローラサプライヤを確認します (NVIDIA、ATI、Intel など)。
5. 更新されたドライバについては、グラフィックカードプロバイダの web サイトを参照してください (たとえば、<http://www.ATI.com> 或は <http://www.NVIDIA.com> )。
6. グラフィックスアダプタのドライバをインストールした後、解像度を再び 1920 x 1200/2560 x 1600 に設定します。

 **注:** 1920 x 1200/2560 x 1600 に解像度を設定できない場合、コンピュータの製造元にお問い合わせいただくか、1920 x 1200/2560 x 1600 のビデオ解像度をサポートするグラフィックスアダプタの購入を考慮してください。

---

[目次に戻る](#)

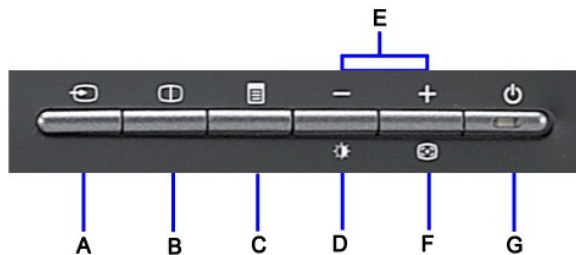
## モニタの操作

### Dell™ 3008WFPフラットパネルモニタユーザーズガイド


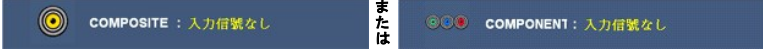







- [前面パネルコントロールの使用](#)
- [オンスクリーンディスプレイ\(OSD\)の使用](#)
- [最適解像度を設定する](#)
- [Dellサウンドバー\(オプション\)を使う](#)
- [傾き、旋回および垂直拡張を使う](#)

### 前面パネルコントロールの使用

モニター前面のコントロールボタンを使用して、表示されている画像の特性を調整します。これらのボタンを使用してコントロールを調整するとき、OSDが変更される特性の数値を示します。




前面パネルボタン	説明															
<p>A</p>  <p>入力ソースの選択</p>	<p>入力ソース選択ボタンを使ってモニターに接続する8つの異なるビデオ信号から選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 VGA 入力</li><li>1 DVI-D 1 入力</li><li>1 DVI-D 2 入力</li><li>1 DisplayPort 入力</li><li>1 HDMI 入力</li><li>1 コンポーネントビデオ入力</li><li>1 Sビデオ入力</li><li>1 コンポジットビデオ入力</li></ol> <p>入力を順番に表示すると、次のメッセージが表示され、現在選択されている入力ソースを示します。画像が表示されるまで、1秒から2秒かかります。</p> <table border="1" data-bbox="397 1186 1385 1591"><tr><td>VGA</td><td>または</td><td>DVI-D 1</td></tr><tr><td>DVI-D 2</td><td>または</td><td>DisplayPort</td></tr><tr><td>HDMI</td><td>または</td><td>Component</td></tr><tr><td>S-Video</td><td>または</td><td>Composite</td></tr></table> <p>VGAまたはDVI-D入力を選択されているがVGAとDVI-Dケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。</p> <table border="1" data-bbox="397 1665 1385 1759"><tr><td>VGAケーブルなし</td><td>または</td><td>DVI-Dケーブルなし</td></tr></table> <p>Sビデオまたはコンポジット入力を選択されている場合、両方のケーブルが接続されていないか、またはビデオソースがオフになっていれば、画面に画像は表示されません。どれかのボタン(電源ボタン以外)を押すと、モニタに次のメッセージが表示されます。</p>	VGA	または	DVI-D 1	DVI-D 2	または	DisplayPort	HDMI	または	Component	S-Video	または	Composite	VGAケーブルなし	または	DVI-Dケーブルなし
VGA	または	DVI-D 1														
DVI-D 2	または	DisplayPort														
HDMI	または	Component														
S-Video	または	Composite														
VGAケーブルなし	または	DVI-Dケーブルなし														

	 	<p>または</p>
B	 <b>ピクチャバイピクチャ (PBP) 選択</b>	<p>このボタンを使って、ピクチャバイピクチャ (PBP) モード調整をアクティブにします。</p>
C	 <b>OSDメニュー/選択</b>	<p>MENU(メニュー)ボタンを使用してオンスクリーンディスプレイ(OSD)を起動し、OSDメニューを選択します。「<a href="#">メニューシステムにアクセスする</a>」を参照してください。</p>
D	 <b>明るさ/コントラストホットキー</b>	<p>「明るさ」および「コントラスト」コントロールメニューに直接アクセスするには、このボタンを使用します。</p>
E	 <b>ダウン (-) およびアップ (+)</b>	<p>これらのボタンを使用してナビゲートし、OSDでスライダバー(範囲の縮小/増加)コントロールを調整します。</p>
F	 <b>自動調整</b>	<p>このボタンを使って、自動設定を有効にしメニューを調整します。モニターが電流入力を入力を自己調整するときに、黒スクリーン上に次のダイアログボックスが表示されます。</p>  <p>自動調整を使って、モニターが入力ビデオ信号に対して自己調整できます。自動調整を使った後、画像設定の下でピクセル・クロック(粗い)、フェーズ(微調整)コントロールを使って、モニターをさらに調整できます。  <b>注:</b> 自動調整は、有効ビデオ入力信号または付属ケーブルがない状態でボタンを押した場合には、発生しません。</p>
G	 <b>電源ボタン(電源ライトインジケータ付き)</b>	<p>電源ボタンを使って、モニターをオンおよびオフにします。</p> <p>青の LED は、モニターがオンで、完全に機能していることを表します。黄色のLEDは、DPMS電源セーブ・モードを表します。LEDは、モニターがオンで、完全に機能していることを表します。黄色のLEDは、DPMS電源セーブ・モードを表します。</p>

## オンスクリーンディスプレイ(OSD)の使用

### メニューシステムへのアクセス

 **注:** 設定を変更し、別のメニューに進むか、またはOSDメニューを終了する場合、モニターは、その変更を自動的に保存します。変更は、設定を変更し、OSDメニューが消えるのを待つ場合も保存されます。

1. メニューボタンを押して、OSDメニューを開き、メインメニューを表示します。

### アナログ(VGA)入力用メインメニュー



または

### 非アナログ(非VGA)入力用メインメニュー





**注:** 自動調整 は、アナログ (VGA) コネクタを使用しているときのみ、利用可能です。

2. および ボタンを押して、設定オプションを移動します。アイコンからアイコンに移動するときに、オプション名をハイライトします。モニター用に利用できるオプションすべての完全リストは、下表を参照してください。
3. メニューボタンを一回押して、ハイライトされたオプションを有効にします。
4. および ボタンを押して、必要なパラメータを選択します。
5. を押して、スライドバーを入力し、次に、メニュー上のインジケータにしたがって、 および ボタンを使って、変更します。
6. 「戻る」オプションを選択してメインメニューに戻るか、「終了」を選択してOSDメニューを終了します。

アイコン	メニューおよびサブメニュー	説明
	終了	メインメニューを選択して、終了します。
	明るさ&コントラスト	<p>このメニューを使って、明るさ/コントラスト調整を有効にします。</p> <p><b>戻る</b>  を使ってメインメニューに戻ります。</p> <p><b>明るさ</b> 明るさで、バックライトのルミナンスを調整します。   ボタンを押して明るさを上げるか、 ボタンを押して明るさを下げます(最小0~最大100)。</p> <p><b>コントラスト</b> 最初に 明るさを調整し、さらに調整が必要な場合のみ、次に コントラストを調整します。   ボタンを押してコントラストを上げるか、 ボタンを押してコントラストを下げます(最小0~最大100)。  「コントラスト」機能で、モニタ画面の暗さと明るさの程度を調整します。</p> <p><b>メニューの終了</b>  を押してOSDメインメニューを終了します。</p>
	自動調整	<p>コンピュータで、起動時にモニターを認識している場合でも、自動調整機能で、特定設定に使う表示設定を最適化できます。</p> <p><b>注:</b> ほとんどの場合、自動調整で、設定に最適な画像が生成されます。  <b>注:</b> AUTO ADJUST (自動調整) オプションは、アナログ (VGA) コネクタを使用しているときのみ、利用可能です。</p>
	入カソース	INPUT SOURCE(入カソース)メニューを使って、異なるビデオ信号の間でモニタに接続するものを選択します。



	<b>戻る</b>	を使ってメインメニューに戻ります。
	<b>自動選択</b>	を押して、使用可能な入力信号をスキャンします。
	<b>VGA</b>	アナログ (VGA) コネクタを使用しているとき、VGA 入力を選択します。 を押して、VGA 入力ソースを選択します。
	<b>DVI-D 1 / DVI-D 2</b>	デジタル (DVI) コネクタを使っているときは、DVI-D 入力を選択します。 を押して、DVI 入力ソースを選択します。
	<b>DisplayPort</b>	DisplayPort コネクタを使用しているときは、DisplayPort 入力を選択してください。 を押して DisplayPort 入力ソースを選択します。
	<b>HDMI</b>	HDMI コネクタを使用しているときは、HDMI 入力を選択してください。 を押して HDMI 入力ソースを選択します。
	<b>コンポーネント</b>	コンポーネントビデオコネクタを使用しているときは、コンポーネント入力を選択してください。 を押してコンポーネント入力ソースを選択します。
	<b>Sビデオ</b>	Sビデオコネクタを使用しているときは、Sビデオ入力を選択してください。 を押して Sビデオ入力ソースを選択します。
	<b>コンボジット</b>	コンボジットビデオコネクタを使用しているときは、コンボジット入力を選択してください。 を押してコンボジット入力ソースを選択します。
	<b>メニューの終了</b>	を押してOSDメインメニューを終了します。
	<b>プリセット設定</b>	Preset Mode(プリセットモード)を使って、色設定モードと色温度を調整します。 VGA/DVI-Dおよびビデオ入力の場合、さまざまな色設定サブメニューがあります。

VGA/DVI-D  
入力の場合  
の色設定サブ  
メニュー

ビデオ入力  
の場合の色設  
定サブメニュ  
ー



VGA/DVI-D 入力



ビデオ入力

また  
は

戻る

を使ってメインメニューに戻ります。

入力色形式

モニタが VGA または DVI ケーブルを使用して PC または DVD に接続されている場合、RGB オプションを選択します。モニタが YPbPr ケーブルによって DVD に接続されている場合、YPbPr+ オプションを選択します。

Gamma

PCおよびMacに対して異なる色モードを有効にします。

色設定モード

グラフィックスモードとビデオモードを切り換えることができます。コンピュータがモニタに接続されている場合、グラフィックスを選択してください。DVD、STB、またはVCRがモニタに接続されている場合、ビデオを選択します。

プリセットモード  
(VGA/DVI-D入力)

異なる表示モードに対して、異なる色プリセットを選択することができます。



デスクトップ

デスクトップアプリケーションに適したモード。



マルチメディア

マルチメディアアプリケーション用のモード(たとえば、ビデオ再生)。



ゲーム

ゲームアプリケーションに適したモード。



Adobe RGB

このモードは Adobe RGB (1998) に対応しています。



sRGB

72% NTSC色をエミュレートするためのモード。



暖色

ウォームモードは、赤褐色を取得するのに選択します。この色設定は、ふつう色集中アプリケーション(写真画像編集、マルチメディア、ムービーなど)に使用します。



冷色

クールモードは、青褐色を取得するのに選択します。この色設定は、ふつうテキストベースのアプリケーション(スプレッドシート、プログラミング、テキスト・エディタなど)に使用します。



カスタム (R, G, B)

または ボタンを使用して、3 色 (R、G、B) のそれぞれを独立して 0~100 まで 1 桁ずつ増加または減少します。

プリセットモード  
(ビデオ入力)

異なる表示モードに対して、異なる色プリセットを選択することができます。



ムービー

ムービー再生に適したモード。



ゲーム

ゲームアプリケーションに適したモード。



スポーツ

スポーツシーンに適したモード。

	ネーチャー	ネーチャーシーンに適したモード。
	色合い	<p>この機能は、ビデオ画像の色を緑から紫にシフトします。これは、目的のフレッシュな色調に調整するために使用されます。</p> <p>⊖ または ⊕ を使って、「0」から「100」まで色合いを調整します。</p> <p>⊖ ビデオイメージシェードの緑を強くします。</p> <p>⊕ ビデオイメージシェードの紫を強くします。</p> <p><b>注:</b> 色合いは、ビデオ入力の場合のみ使用できます。</p>
	彩度	<p>この機能は、ビデオイメージの彩度を調整できます。</p> <p>⊖ または ⊕ を使って、「0」から「100」まで彩度を調整します。</p> <p>⊖ ビデオイメージのモノクロを強くします。</p> <p>⊕ ビデオイメージをよりカラフルにします。</p> <p><b>注:</b> 彩度は、ビデオ入力の場合のみ使用できます。</p>
	色リセット	モニタの色設定を工場出荷時の設定にリセットします。
	メニューの終了	⊞ を押してOSDメインメニューを終了します。

	画像設定		
	VGA/DVI-D 入力の場合の画像設定モードサブメニュー		
	画像設定モードビデオ入力	<p>または</p>	
	VGA/DVI-D 入力	<p><b>注:</b> 画像設定モードは、VGA/DVI-D とビデオ入力で異なります。</p>	
	戻る	⊞ を使ってメインメニューに戻ります。	
	ワイドモード	イメージ比を 1:1、アスペクト比または全画面として調整します。	
	水平位置	<p>⊖ または ⊕ ボタンを使って、画像を左または右に調整します。最小値は「0」(-)です。最大値は「100」(+ )です。</p> <p><b>注:</b> DVIソースを使用しているとき、水平設定は使用できません。</p>	
	垂直位置	<p>⊖ または ⊕ ボタンを使って、画像を上または下に調整します。最小値は「0」(-)です。最大値は「100」(+ )です。</p> <p><b>注:</b> DVIソースを使用しているとき、垂直設定は使用できません。</p>	
	シャープネス	<p>この機能により、画像はシャープにまたはソフトに表示されます。</p> <p>⊖ または ⊕ を使って、「0」から「100」までシャープネスを調整します。</p>	
	ピクセルクロック	<p>ピクセルクロックおよびフェーズ調整で、モニターをお好みにあわせ調整することができます。これらの設定は、「画像設定」を選択することで、メインOSDメニューからアクセスできます。</p> <p>⊖ または ⊕ ボタンを使って、最高の画像品質になるように調整します。</p>	
	フェーズ	<p>フェーズ調整を使った結果がよくない場合、ピクセルクロック(粗い)を使い、次にフェーズ(細かい)をもう一度使います。</p> <p><b>注:</b> ピクセルクロックとフェーズ調整は、「VGA」入力の場合のみ使用できます。</p>	
	ダイナミックコントラスト	<p>ダイナミックコントラスト調整により、ゲームプリセット、ムービープリセット、スポーツプリセット、ネーチャープリセットを選択している場合、高いコントラストが得られます。(ダイナミックコントラストモードに入っている間明るさコントロールは無効になっており、淡色表示されます)。</p>	

	<p><b>画像情報</b></p> <p><b>画像プリセット</b></p> <p><b>メニューの終了</b></p>	<p>Ⓜ ボタンを使って、ダイナミックコントラスト調整を有効にします。 Ⓜ ボタンを使って、ダイナミックコントラスト調整を無効にします。 このモニタに関連するすべての設定。</p> <p>画像を工場出荷時の設定にリセットします。</p> <p>Ⓜ を押してOSDメインメニューを終了します。</p>
<p></p> <p><b>その他の設定</b></p>	<p><b>戻る</b></p> <p><b>言語</b></p> <p><b>メニューの透明性</b></p> <p><b>メニュータイマー</b></p> <p><b>メニューロック</b></p> <p><b>オーディオ</b></p> <p><b>オーディオ設定</b></p> <p><b>DDC/CI</b></p> <p><b>LCD条件設定</b></p>	<div data-bbox="402 504 863 982" data-label="Image"> </div> <p>Ⓜ を使ってメインメニューに戻ります。</p> <p>言語は5ヶ国語(英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、日本語)のうち1つで表示を行うようにOSDディスプレイを設定できます。</p> <p>この機能は、OSDの背景を不透明から透明まで調整するために使用されます。</p> <p>OSDホールド時間時間の長さを設定すると、OSDはボタンを最後に押した後有効になります。 Ⓜ または Ⓜ ボタンを使って、1～60秒までで、5秒ずつスライダーを調整します。</p> <p>調整に対するユーザアクセスを管理します。[ロック] Ⓜ を選択した場合、ユーザ調整はできません。Ⓜ ボタン以外、ボタンはすべてロックされます。</p> <p><b>注:</b> OSDがロックされている場合、メニューボタンを押すと、OSDロックを選択した状態で、ユーザは直接OSD設定メニューに進みます。[いいえ] Ⓜ を選択して、ロック解除して、ユーザは適用可能なすべての設定にアクセスできます。</p> <p>モニターが電源セーブ・モードの場合、オーディオをオンまたはオフにすることができます。 デフォルトは「有効」です。「無効」を選択すると、この機能が無効になります。</p> <p><b>はい</b> — 省電力モードの間、オーディオ電源をオフにします。 <b>いいえ</b> — 省電力モードの間、オーディオ電源を音にします。</p> <p>オーディオは、2種類のオーディオチャンネルを設定します。Ⓜ または Ⓜ ボタンを使って2チャンネルと5.1チャンネル間を移動し、目的のオプションを選択します。</p> <p>DDC/CI (表示データチャンネル/コマンドインターフェース)で、PC上のソフトウェアアプリケーションを使って、モニターパラメータ(明るさ、配色等)を調整できます。 デフォルトは「有効」です。「無効」を選択すると、この機能が無効になります。 モニタのユーザー体験を最高にし最適なパフォーマンスを達成するために、この機能は常に有効にしておいてください。 「DDC/CIを有効にする」を選択すると、以下の警告メッセージが表示されます:</p> <div data-bbox="402 1627 977 1705" data-label="Image"> </div> <p>モニタで画像が固まった場合、LCD条件設定を選択し、残留画像を削除します。LCD条件設定機能の使用には、数時間が必要な場合があります。残留画像の程度がひどいものは焼付けとして知られ、LCD条件設定機能では、この焼付けを削除することができません。 「LCDコンディショニングを有効にする」を選択すると、以下の警告メッセージが表示されます:</p> <div data-bbox="402 1780 1047 1879" data-label="Image"> </div> <p><b>注:</b> 残留画像に問題が発生した場合のみ、LCD条件設定を使います。</p>

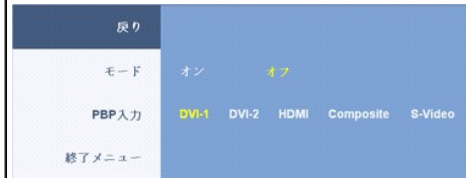
オーディオ OSDメニューオプションを工場出荷時事前設定値にリセットします。

メニューの終了  を押してOSDメインメニューを終了します。



**PBP 設定** この機能では、別の入力ソースからイメージを表示するウィンドウを使用できます。つまり、異なるソースから同時に 2 つのイメージを見ることができます。

**ピクチャバイピクチャ (PBP) がオフのときのピクチャバイピクチャ (PBP) サブメニュー**



**1)ピクチャバイピクチャ (PBP) がオンするときの入力ソースサブメニュー (メインソースは VGA または DisplayPort またはコンポーネント入力です)**



**ピクチャバイピクチャ (PBP) がオンするときのピクチャバイピクチャ (PBP) サブメニュー (2 番目のソースは DVI or HDMI またはコンポジットまたは S ビデオです)**







**注:** DVIソースを使う場合、コントラスト調整は、利用できません。

**戻る**

を使ってメインメニューに戻ります。

**モード**

と ボタンを使ってブラウズし、 を使ってピクチャバイピクチャ (PBP) の「オン」または「オフ」を選択します。

**PBP ソース**

ピクチャバイピクチャ (PBP) に対して入力信号を選択します。(DVI-1/DVI-2/HDMI/コンポジット/S-Video)。

と ボタンを使ってブラウズし、 を使って選択します。

**プリセットモード**

異なる表示モードに対して、異なる色プリセットを選択することができます。  
 デスクトップモードは、デスクトップアプリケーション用です。(DVI 入力ソースのみ)。  
 72% NTSC 色をエミュレートするための sRGB モード。(DVI 入力ソースのみ)。  
 ムービー再生に適したムービーモード。(ビデオ入力ソースのみ。HDMI/コンポジット /Sビデオ)  
 ネーチャーシーンに適したネーチャーモード。(ビデオ入力ソースのみ。HDMI/コンポジット /Sビデオ)

と ボタンを使ってブラウズし、 を使って選択します。

**コントラスト**



ピクチャバイピクチャ (PBP) モードでピクチャのコントラストレベルを調整します。

ボタンは、コントラストを減少します。

ボタンは、コントラストを増加します。

**注:** コントラスト調整は、ビデオ入力の場合のみ使用できます。

**色合い**



この機能では、ピクチャバイピクチャ (PBP) イメージの色が緑から紫にシフトします。これは、目的のフレッシュな色調に調整するために使用されます。

または を使って、「0」から「100」まで色合いを調整します。

ビデオイメージの緑を強くします。

ビデオイメージの紫を強くします。

**注:** 色合いは、ビデオ入力の場合のみ使用できます。

**彩度**



ピクチャバイピクチャ (PBP) イメージの彩度を調整します。

または を使って、「0」から「100」まで彩度を調整します。

ビデオイメージのモノクロを強くします。

ビデオイメージをよりカラフルにします。

**注:** 彩度は、ビデオ入力の場合のみ使用できます。

**メニューの終了**

を押してOSDメインメニューを終了します。

**OSD警告メッセージ**

モニタが特定の解像度モードをサポートしていないとき、次のメッセージが表示されます。



または



これは、モニターがコンピュータから受信している信号と同期できないことを意味します。このモニターが使用できる水平および垂直周波数幅については、[モニター仕様](#)を参照してください。

ください。  
アナログ入力の場合、1920 x 1200 の解像度を使用するようにお奨めします。  
デジタル入力の場合、2560 x 1600 の解像度を使用するようにお奨めします。

電源ボタン以外のボタンを押すと、選択した入力によって次のメッセージのどれかが表示されます。



ピクチャバイピクチャ (PBP) モードで、モニタが選択した信号入力を検知しないとき、OSD スクリーンが閉じている場合、選択した入力に従って次のメッセージのどれかが表示されます。



VGAまたはDVI-D入力を選択されているがVGAとDVI-Dケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。



**注:** ケーブルがモニタ背面 (PBP) ウィンドウに戻りま

**注:** ピクチャバイピクチャ (PBP) 機能は、2 番目のイメージソースからピクチャを表示できます。これにより、1 つの PC ソース (D-Sub または DVI) とから 1 つのビデオソース (コンポジットまたはホーネット) からイメージを見ることができます。この機能では、2 つのビデオソースがピクチャバイピクチャ (PBP) を実行することはできません。

詳細は、[問題を解決する](#) を参照してください。

## 最適解像度を設定する

**注:** 最適解像度は、アナログ入力の場合は 1920 x 1200、デジタル入力の場合は 2560 x 1600 です。

モニタを最適の解像度に設定するには、

Windows XP:

1. デスクトップを右クリックして、**プロパティ**を選択します。
2. **設定**タブを選択します。
3. 画面解像度を1920 x 1200/2560 x 1600に設定します。
4. **OK**をクリックします。

Windows Vista® あるいはWindows 7:

1. デスクトップで右クリック、**カスタマイズ**をクリックします。
2. **ディスプレイ設定の変更**をクリックします。
3. マウスの左ボタンを押しながらスライダーバーを右に動かし、画面解像度を1920 x 1200/2560 x 1600に調整します。
4. **OK**をクリックします。

オプションとして 1920 x 1200/2560 x 1600 がない場合は、グラフィック・ドライバを更新できます。コンピュータによっては、以下の手順のいずれかを完了してください。

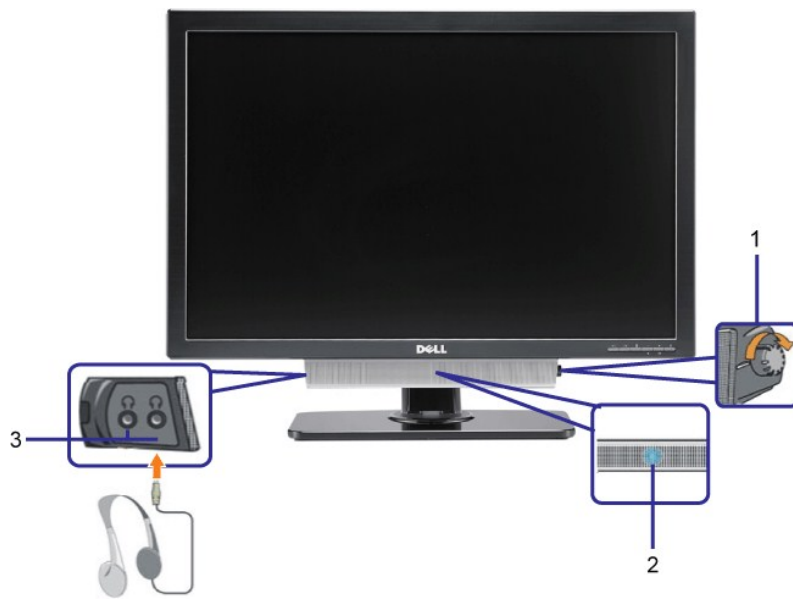
- 1 Dell デスクトップまたはポータブル・コンピュータをご使用の場合:
  - o [support.dell.com](http://support.dell.com)に進み、サービス・タグを入力し、グラフィックス・カードに最新のドライバをダウンロードします。
- 1 Dell以外のコンピュータ(ポータブルまたはデスクトップ)をお使いの場合:
  - o コンピュータのサポートサイトに進み、最新のグラフィックス・ドライバをダウンロードします。
  - o グラフィックス・カード・ウェブサイトに進み、最新のグラフィックス・ドライバをダウンロードします。

## Dellサウンドバー(オプション)を使う

DellサウンドバーはDellフラットパネルディスプレイの取り付けに適した2つのチャンネルシステムから成っています。?サウンドバーには全体システム・レベルを調整する回転音量とオン/オフ・コントロー



ル、電源表示用の緑のLEDおよびオーディオ・ヘッドセット・ジャック2つが搭載されています。

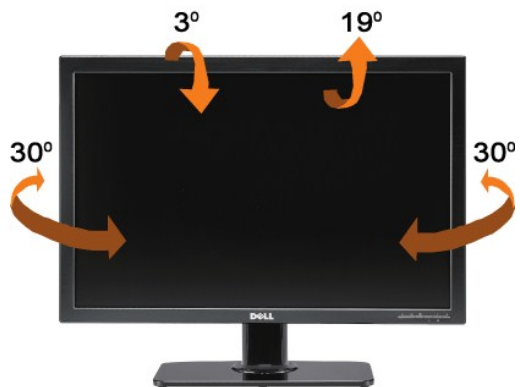



1. 電源/音量調節
2. 電源インジケータ
3. ヘッドフォン・コネクタ

## 傾き、旋回および垂直拡張を使う

### 傾斜/回転

付属のスタンドを使って、モニターをもっと見やすい角度に傾けたり、および/または旋回したりできます。



 **注:** モニタが工場から出荷される時、スタンドは取り外され引き伸ばされます。

### 垂直延長

Tスタンドは、最大90 mm垂直に延びます。以下の図は、スタンドを垂直に延ばす方法を示しています。



---

[目次ページに戻る](#)

[目次に戻る](#)

## モニタのセットアップ

Dell™ 3008WFPフラットパネルモニタユーザーズガイド

---

### ディスプレイ解像度を 1920 x 1200 (VGA 入力ソース)/2560 x 1600(DVI /Displayport入力ソース)に設定するための重要な指示 (最適)

Microsoft WindowsR オペレーティングシステムを使用している間最適のディスプレイパフォーマンスを達成するには、次のステップを実行してディスプレイ解像度を 1920 x 1200/2560 x 1600 画素を設定します:

Windows XPでは:

1. デスクトップを右クリックし、**プロパティ**をクリックします。
2. **設定**タブを選択します。
3. マウスの左ボタンを押し下げることによってスライドバーを右に移動し、スクリーン解像度を 1920 x 1200/2560 x 1600 に調整します。
4. OKをクリックします。

Windows Vista® あるいはWindows 7では:

1. デスクトップ上で右クリック、**カスタマイズ**をクリックします。
2. **ディスプレイ設定の変更**をクリックします。
3. マウスの左ボタンを押し下げることによってスライドバーを右に移動し、スクリーン解像度を 1920 x 1200/2560 x 1600 に調整します。
4. OKをクリックします。

オプションとして 1920 x 1200/2560 x 1600 が表示されない場合、グラフィックスドライバを更新する必要があります。ご使用中のコンピュータシステムをもっともよく説明するシナリオを以下から選択し、示される指示に従ってください:

- 1: [インターネットにアクセスして Dell™ デスクトップコンピュータまたは Dell™ ノート PC を使用している場合。](#)
- 2: [非 Dell™ デスクトップコンピュータ、ノート PC、またはグラフィックカードを使用している場合。](#)

---

[目次に戻る](#)

# Dell™ 3008WFP フラットパネルモニタ

- [ユーザーガイド](#)

- [ディスプレイ解像度を 1920 x 1200 \(VGA 入カソース\)/2560 x 1600\(DVI/Displayport入カソース\)に設定するための重要な指示 \(最適\)](#)

---

本文書中の情報は、通知することなく変更することがあります。  
© 2007-2009 Dell Inc. 複製を禁ず。

Dell社の書面による許可なしには、いかなる方法による複製も 厳禁します。

本テキストで使用した商標 本テキストで使用した商標。 Dell および Dell ロゴは Dell Inc の商標です。;Microsoft、Windows、Windows NT は Microsoft Corporation の登録商標です。Adobe は Adobe Systems Incorporated の商標で、それぞれ特定の管轄区域で登録されています。

マークおよび名称を請求する団体またはその製品を参照するために、本文書中で、その他の商標および商号を使うことがあります。Dell社は、自社以外の商標および商号の所有権を放棄します。

Model 3008WFPt

Rev. A05 2009 年 12 月

## モニターのセットアップ

Dell™ 3008WFPフラットパネルモニターユーザーズガイド

- [モニターの接続](#)
- [ケーブルの整理](#)
- [サウンドバーの取り付け\(オプション\)](#)
- [スタンドを取り外す](#)
- [スタンドを取り付ける](#)

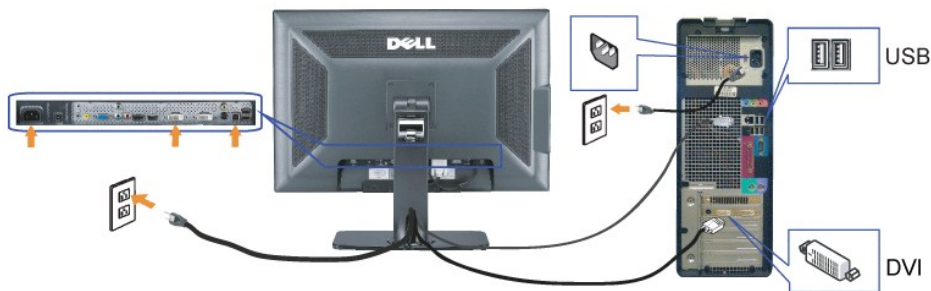
### モニターの接続

**⚠ 警告:** このセクションで手続きをはじめる前に、[安全指示書](#) にしたがってください。

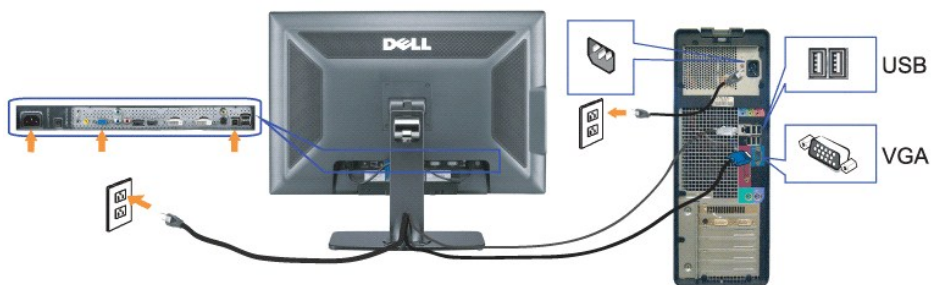
モニターをコンピュータに接続するには、次のステップ/指示を実行してください。perform the following steps/instructions:

- 1 コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを外します。
- 1 白い(デジタルDVI-D)または青い(アナログVGA)ディスプレイコネクタケーブルのどちらかをコンピュータ背面の対応するビデオポートに接続します。両方のケーブルを同じコンピュータで使用しないでください。2台の異なるコンピュータが適切なビデオシステムに接続されているときのみ、両方のケーブルを使用します。

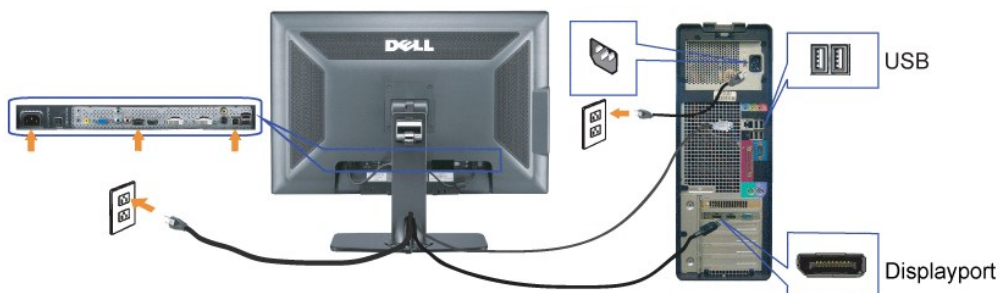
#### 白い DVI ケーブルの接続



#### 青い VGA ケーブルの接続



#### Displayport ケーブルを接続する



**⚠ 注意:** 画像は、実例を示す目的で使用されます。コンピュータの外観は異なることがあります。

DVI/VGA/DisplayPort ケーブルの接続が完了したら、以下の手順に従ってUSBケーブルをコンピュータに接続し、モニタのセットアップを完了します。

- 1 DVI/VGAケーブルの接続が完了したら、以下の手順に従ってUSBケーブルをコンピュータに接続し、モニタのセットアップを完了します。
- 1 USB周辺機器をモニタのダウンストリームUSBポート(背面または側面)に接続します。(鍵穴は、[背面図](#)または [側面図](#)を参照してください)。
- 1 コンピュータとモニタの電源ケーブルを近くのコンセントに差し込みます。
- 1 モニターおよびコンピュータの電源をオンにします。  
画像が見えない場合は、入力選択ボタンを押し、入力ソースが正しく選択されていることを確認します。それでも画像が映らない場合は、[問題を解決する](#)を参照してください。
- 1 モニタスタンドのケーブルホルダを使用してケーブルを整理します。

---

## ケーブルの整理



モニタおよびコンピュータに必要なケーブルすべてを取り付けた後、(ケーブルの取り付けについては、[モニターを接続する](#)を参照) ケーブルホルダを使って、すべてのケーブルを整理します。

---

## サウンドバーの取り付け



🔗 **注記:** Dell サウンドバー以外のデバイスと一緒に使用しないでください。

🔗 **注意:** サウンドバーパワーコネクタ +12V DC 出力は、オプションのサウンドバー専用です。

1. モニター背面から、2つのスロットをモニター背面の下部沿いにある2つのタブに合わせながら、サウンドバーを取り付けます。
2. サウンドバーが所定の位置にはめ込まれるまで、サウンドバーを左側にスライドさせます。
3. 電源コードをサウンドバーからモニター後部のコネクタに差し込みます。
4. サウンドバー背面から出る黄緑色のミニステレオプラグを、コンピュータのオーディオ出力ジャックに挿入します。

🔗 **注意:** HDMI ソースからオーディオを再生するには、ミニステレオプラグをモニタ背面のオーディオアウトコネクタに挿入します。

---

## スタンドを取り外す

🔗 **注意:** スタンドを取り外している間に LCD 画面に傷が付かないように、モニタがきれいな表面に配置されていることを確認してください。

次のステップに従ってスタンドを取り外してください:



1. スタンドから4本のねじを取り外します。
  2. スタンドを真っ直ぐ上に持ち上げモニターから離すようにして取り外します。
- 

## スタンドを取り付ける



平らな面にスタンドを置き、以下のステップに従ってモニタスタンドを取り付けてください。

1. モニタ背面の溝をスタンド上部の2つのタブに合わせます。
2. モニタの取り付け領域がパチッと留まるか、スタンドにロックされるまでモニタを下げ、図のようにボルトを締め付けます。

---

[目次ページに戻る](#)



[目次ページに戻る](#)

## 問題を解決する

### Dell™ 3008WFPフラットパネルモニターユーザーズガイド

- [モニターのトラブルシューティング](#)
- [一般的な問題](#)
- [ビデオの問題](#)
- [製品別の問題](#)
- [ユニバーサルシリアルバス固有の問題](#)
- [Dell™ サウンドバーのトラブルシューティング](#)
- [カードリーダーのトラブルシューティング](#)

**警告:** このセクションで手続きをはじめる前に、[安全指示書](#)にしたがってください。

## モニターのトラブルシューティング

### 自己テスト機能チェック(SIFC)

お使いのモニターには、自己テスト機能が装備され、適切に機能しているかどうかを確認できます。モニターとコンピュータが適切に接続されていて、モニタースクリーンが暗い場合は、次の手順でモニター自己テストを実行してください:

1. コンピュータとモニター両方の電源をオフにする。
2. コンピュータの後ろかビデオケーブルを外す。自己テストが適切に運用できるようにするには、コンピュータの後ろからデジタル(白コネクタ)とアナログ(黒コネクタ)ケーブル両方を外します。
3. モニターの電源をオンにする。

モニターがビデオ信号を検知できないが正しく動作している場合、画面に浮動ダイアログボックスが(黒い背景に)表示されます。自己テストモードに入っている間、電源 LED は青く表示されています。また、選択した入力によって、下に表示されるダイアログの 1 つが画面上をスクロールし続けます。



4. ビデオケーブルが外されているか、または破損している場合、通常システムの運転中、このボックスが表示されます。
5. モニターの電源をオフにして、ビデオケーブルを再接続し、次にコンピュータとモニター両方の電源をオンにします。

前の手順を行った後もモニター・スクリーンに何も表示されない場合、ビデオ・コントローラおよびコンピュータ・システム、およびモニターが適切に機能していることをチェックしてください。

**注意:** 自己テスト機能チェックは、Sビデオ、コンジット、およびコンポーネントビデオモードに対しては使用できません。

## 一般的な問題


次の表には、発生する可能性のあるモニターのよくある問題と考えられる解決策に関する一般情報が含まれます。

一般症状	問題の説明	解決方法
ビデオなし/電源LEDオフ	画像なし、モニターが無効	<ul style="list-style-type: none"><li>1 コンピュータにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します</li><li>1 他の電気機器を使用して、コンセントが正しく機能していることを確認します。</li><li>1 電源ボタンが完全に押されていることを確認します。</li></ul>
ビデオなし/電源LEDオフ	画像なし、または明るさが低い	<ul style="list-style-type: none"><li>1 OSDIによって、明るさとコントラスト・コントロールを調整します。</li><li>1 モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。</li><li>1 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。</li><li>1 内蔵診断を実行します。</li></ul>
フォーカスが弱い	画像が不鮮明か、ぼやけているか、または薄れている。	<ul style="list-style-type: none"><li>1 OSDIによって自動調整を実行します。</li><li>1 OSDIによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。</li><li>1 ビデオ拡張ケーブルを外します。</li><li>1 モニターを工場出荷時設定にリセットします。</li><li>1 ビデオ解像度を正しいアスペクト比(16:10)に変更します</li></ul>
ビデオが揺れたり/ずれたり/ちらちらする	画像が波打ったり、微妙にぶれる	<ul style="list-style-type: none"><li>1 OSDIによって自動調整を実行します。</li><li>1 OSDIによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。</li><li>1 モニターを工場出荷時設定にリセットします。</li><li>1 環境係数をチェックします</li><li>1 モニターの場所を変えて、他の部屋でテストします。</li></ul>
ピクセルが抜けている	LCDスクリーンに点が入る	<ul style="list-style-type: none"><li>1 サイクル電源オン・オフ</li><li>1 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これはLCDテクノロジーに固有の欠陥です。</li></ul>
ドット落ち	LCDスクリーンに明るい点が入る	<ul style="list-style-type: none"><li>1 サイクル電源オン・オフ</li><li>1 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これはLCDテクノロジーに固有の欠陥です。</li></ul>

明るさの問題	画像が薄すぎるか、明るすぎる	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。</li> <li>1 OSDによって自動調整を実行します。</li> <li>1 OSDによって、明るさとコントラスト・コントロールを調整します。</li> </ul>
幾何歪曲	スクリーンが正確にセンタリングされていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。</li> <li>1 OSDによって自動調整を実行します。</li> <li>1 OSDによって、明るさとコントラスト・コントロールを調整します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 「DVI-D」を使用しているとき、位置決め調整はご利用いただけません。</p>
水平/垂直ライン	スクリーンに複数の線が入る	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。</li> <li>1 OSDによって自動調整を実行します。</li> <li>1 OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。</li> <li>1 モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テスト・モードでも入るかどうかを確認します。</li> <li>1 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 「DVI-D」を使用しているとき、ピクセルクロックとフェーズ調整はご利用いただけません。</p>
同期問題	スクリーンがスクランブル状態か、磨り減って見える	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。</li> <li>1 OSDによって自動調整を実行します。</li> <li>1 OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。</li> <li>1 モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テスト・モードでも入るかどうかを確認します。</li> <li>1 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。</li> <li>1 セーフモードでコンピュータを再起動します。</li> </ul>
安全関連問題	スモークまたはスパークの明らかな症状	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 トラブルシューティング手順を実行しないでください。</li> <li>1 直ちにDellにご連絡ください。</li> </ul>
断続的問題	モニターの誤作動をオンおよびオフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 コンピュータにモニタを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します</li> <li>1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。</li> <li>1 モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テスト・モードでも入るかどうかを確認します。</li> </ul>
スタックオンピクセル	画像の色が欠けている	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 モニタの自己テスト機能チェックを実行します。</li> <li>1 コンピュータにモニタを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。</li> <li>1 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。</li> </ul>
色違い	イメージは間違った色で表示されます	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 OSD を使って、色設定モードをグラフィックスまたはビデオに変更します。</li> <li>1 色設定OSDで異なる色プリセット設定を試みます。色管理がオフになっている場合、</li> <li>1 色設定OSDでR/G/B値を調整します。</li> <li>1 アドバンス設定OSDで、入力色形式をPC RGBまたはYPbPrに変更します。</li> </ul>
長時間モニタに静止画像を表示したために起こる画像の焼き付き	静止画像からのかすかな影画面にディスプレイが表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 電源管理機能を使用して、使用していないときは常にモニタの電源をオフにしてください。また、ダイナミックに変更するスクリーンセーバーを使用します。長期間モニタに残ります。(詳細については、<a href="#">電源管理モード</a>参照してください)。</li> <li>1 OSDメニューの「他の設定」で、「LCD コンディショニングを有効にする」を選択します。このオプションを使うと、イメージが除去されるまで数時間かかります。</li> <li>1 または、動的に変わるスクリーンセーバーを使用します。</li> </ul>

## ビデオの問題

一般症状	問題の説明	解決方法
ビデオが出ない	信号インジケータが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 ビデオ入力選択をチェックしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コンボジット: 黄色の RCA ジャック。</li> <li>○ Sビデオ: 一般的には、丸い 4 ピンジャック。</li> <li>○ コンポーネント: 赤、青、緑色の RCA ジャック。</li> </ul> </li> </ul>
低品質 DVD 再生	ピクチャが鮮明でなく、一部に色のひずみが見られる	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 DVD 接続をチェックし、使用可能な最高のビデオケーブルを使用します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コンボジットでは、普通のピクチャが表示されます。</li> <li>○ Sビデオでは、優れたピクチャが表示されます。</li> <li>○ コンボジットでは、最高のピクチャが表示されます。</li> </ul> </li> </ul>
ビデオが点滅する	ビデオが点滅する、または連続して表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 DVD 接続をチェックし、使用可能な最高のビデオケーブルを使用します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コンボジットでは、普通のピクチャが表示されます。</li> <li>○ Sビデオでは、優れたピクチャが表示されます。</li> <li>○ コンボジットでは、最高のピクチャが表示されます。</li> </ul> </li> <li>1 DVD プレーヤーが HDCP に準拠していることを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 非準拠プレーヤーの中にはビデオが点滅するものがあるが、ラスタースクリーン (イメージが画面からはみ出るまたは画面より小さくなる) が表示されるものもあります。</li> </ul> </li> </ul>

 **注意:** Sビデオ、コンボジットまたはコンポーネントビデオを選択しているとき、自動調整機能は使用できません。

## 製品別の問題

一般症状	問題の説明	解決方法
スクリーン画像が小さい	画像がスクリーン上でセンタリングされているが、全表示領域を満たしていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 画像設定OSDで、スケール比設定を確認します。</li> <li>1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。</li> </ul>
正面パネル上のボタンで、モニターを調整できない	OSDがスクリーン上に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 モニターの電源をオフにして、電源コードを外し、もう一度コードを差して、電源を入れます。</li> </ul>

モニターが電源セーブ・モードに入らない。	画像が表示されず、LEDライトが青になっている。「+」、「-」または「Menu (メニュー)」キーを押すと、「Sビデオ入力信号がありません」、「コンポジット入力信号がありません」または「コンポーネント入力信号がありません」というメッセージが表示される。	1 マウスを動かすかキーボードのキーを打つか、またはビデオプレーヤーを有効にして、OSDにアクセスし、オーディオを「オフ」状態に設定します。
ユーザコントロールを押ししても入力信号がない。	画像が表示されず、LEDライトが青になっている。「+」、「-」または「Menu (メニュー)」キーを押すと、「Sビデオ入力信号がありません」、「コンポジット入力信号がありません」または「コンポーネント入力信号がありません」というメッセージが表示される。	1 信号ソースをチェックします。マウスを動かすかキーボードのどれかのキーを押して、コンピュータが省電力モードに入っていないことを確認します。 1 Sビデオ、コンポジットまたはコンポーネントへのビデオソースの電源がオンになっていてビデオメディアを再生していることを確認します。 1 信号ケーブルが正しく差し込まれているかどうかをチェックします。必要に応じて、信号ケーブルを差し込み直してください。 1 コンピュータまたはビデオプレーヤーを再起動します。
ピクチャが画面全体に表示されない。	ピクチャを画面の高さまたは幅いっぱいに表示できない。	1 DVDの異なるビデオ形式により、モニタが全画面で表示できないことがあります。
入力が自動的に別のソースに切り替わる	入力ソースを選択できない	1 「自動検出」モードの下で、DVIまたはVGA信号のどちらかが失われると(または、ケーブルが外されると)、ディスプレイは信号が存在する他の入力ソースに自動的に切り替わります。

 **注意:** DVI-D モードを選択しているとき、Auto Adjust (自動調整) 機能はご利用になれません。

## ユニバーサルシリアルバス固有の問題

一般症状	問題の説明	解決方法
USBインターフェースが作動していない	USB周辺機器が作動していない	1 モニターの電源がオンになっているかを確認します。 1 アップストリーム・ケーブルをコンピュータに再接続します。 1 USB周辺機器 (ダウンストリーム・コネクタ) を再接続します。 1 電源をオフにして、もう一度モニターをオンにします。 1 コンピュータを再起動します。 1 外付けポータブルHDDのような一部のUSBデバイスは、高い電流を必要とすることがあります。デバイスをコンピュータシステムに直接接続してください。
高速USB2.0インターフェースが遅い	高速USB2.0周辺機器が遅いか、まったく作動しない	1 コンピュータがUSB2.0対応かどうかを確認します。 1 コンピュータの中には、USB 2.0とUSB 1.1ポートの両方を搭載しているものもあります。正しいUSBポートを使用されていることを確認してください。 1 アップストリーム・ケーブルをコンピュータに再接続します。 1 USB周辺機器 (ダウンストリーム・コネクタ) を再接続します。 1 コンピュータを再起動します。

## Dell™ サウンドバーのトラブルシューティング

一般症状	問題の説明	解決方法
音が出ない	サウンドバーに電源が入らない 電源インジケータがオフになっている (内臓DC電源、例. 3008WFP)	1 サウンドバー前面の電源インジケータ (青 LED) が点灯した場合、サウンドバーの電源/音量ノブを時計方向に中央の位置まで回します。 1 サウンドバーからの電源ケーブルがモニターに差し込まれていることを確認します。 1 モニターの電源が入っていることを確認します。 1 モニターに電源が入っていない場合、モニターの問題について <a href="#">モニターに関するトラブルシューティングQ</a> を参照してください。
音が出ない	サウンドバーの電源が入っている 電源インジケータがオンになっている	1 オーディオ・ラインイン・ケーブルをコンピュータのオーディオ・アウト・ジャックに差し込みます。 1 すべてのWindowsの音量コントロールを最大に設定します。 1 コンピュータでオーディオ・コンテンツをいくつか再生します (例. オーディオCDまたはMP3)。 1 サウンドバーの電源/音量ノブを高音量設定に対して時計回りに回します。 1 オーディオ・ライン・プラグを清掃して、リセットします。 1 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします (例. ポータブルCDプレイヤー)。
音が曲がっている	コンピュータのサウンドカードをオーディオ・ソースとして使います。	1 サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 1 オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 1 すべてのWindowsの音量コントロールを中間に設定します。 1 オーディオ・アプリケーションの音量を下げます。 1 サウンドバーの電源/音量ノブを低音量設定に対して反時計回りに回します。 1 オーディオ・ライン・プラグを清掃して、リセットします。 1 コンピュータのサウンドカードのトラブルシューティング 1 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします (例. ポータブルCDプレイヤー)。
音が曲がっている	その他のオーディオ・ソースを使います。	1 サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 1 オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 1 オーディオ・ソースの音量を下げます。 1 サウンドバーの電源/音量ノブを低音量設定に対して反時計回りに回します。 1 オーディオ・ライン・プラグを清掃して、リセットします。
音出力がアンバランス	サウンドバーの片側からだけ音が出る	1 サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 1 オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードまたはオーディオ・ソースのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 1 すべてのWindowsオーディオ・バランス・コントロール (L-R) を中間に設定します。 1 オーディオ・ライン・プラグを清掃して、リセットします。 1 コンピュータのサウンドカードのトラブルシューティング 1 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします (例. ポータブルCDプレイヤー)。

低音量	音量が低すぎる	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。</li> <li>1 サウンドバーの電源/音量ノブを最大音量設定に対して時計回りに回します。</li> <li>1 すべてのWindowsの音量コントロールを最大に設定します。</li> <li>1 オーディオ・アプリケーションの音量を上げます。</li> <li>1 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします(例、ポータブルCDプレイヤー)。</li> </ul>
-----	---------	--

## カードリーダーのトラブルシューティング

**注:** カードリーダーがメディアの読み込みや書き込みを行っている間、メディアを取り外さないでください。データが失われたり、メディアの誤動作の原因となります。

一般症状	問題の説明	解決方法
ドライブ文字が割り当てられない。 (Microsoft Windows XP™ のみ)	ネットワークドライブ文字が競合しています	<ul style="list-style-type: none"> <li>A. デスクトップで<b>マイコンピュータ</b>を右クリックし、<b>管理</b>をクリックします。<b>コンピュータ管理</b>の下で、<b>ディスク管理</b>をクリックします。</li> <li>B. 右パネルのドライブのリストで、<b>リムーバブルデバイス</b>を右クリックし、<b>ドライブの変更 文字とパス</b>をクリックします。</li> <li>C. <b>変更</b>をクリックし、ドロップダウンボックスで、<b>リムーバブルデバイス</b>のドライブ文字を指定し、マップされたネットワークドライブに割り当てられていない文字を選択します。</li> <li>D. <b>OK</b>をクリックし、<b>OK</b>を再びクリックします。</li> </ul>
ドライブ文字は割り当てられるが、メディアにアクセスできない。	メディアを再フォーマットする必要があります	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 Explorer でドライブを右クリックし、表示されるメニューから [フォーマット] を選択します。</li> </ul> <p><b>注:</b> メディアをフォーマットすると、内容は消去されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 別のメディアを使用してカードをテストするか、別のカードリーダーでメディアをテストしメディアに欠陥がないことを確認します。</li> </ul>
書き込みや消去を行っている間に、メディアが取り外される。	<p>消去中に、コンピュータにこのエラーメッセージが表示されます。</p> <p>ファイルやフォルダをコピーしている間のエラーですまたは</p> <p>書き込みを行っている間、フォルダ (フォルダ名) またはファイル (ファイル名) を書き込むことはできません。または、フォルダ (フォルダ名) またはファイル (ファイル) を取り外すことはできません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 メディアを再び挿入し、書き込みまたは消去を再実行してください。</li> <li>1 消去を行っている間、同じフォルダやファイル名で書き込みや消去を行うことはできません。</li> <li>1 メディアが損傷した可能性があります。メディアをフォーマットして再実行してください。</li> </ul> <p><b>注:</b> メディアをフォーマットすると、内容は消去されます。</p>
書き込み/削除ステータスウィンドウが非表示になっているのに、LED がまだ点滅している間にメディアが取り外されました。	書き込み/削除ステータスウィンドウが非表示になっているのに、LED が点滅している場合、メディアの書き込み/削除アクションが完了していないことが考えられます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 メディアを再び挿入し、書き込みまたは消去を再実行してください。</li> <li>1 メディアが損傷した可能性があります。メディアをフォーマットして再実行してください。</li> </ul> <p><b>注:</b> メディアをフォーマットすると、内容は消去されます。</p>
メディアをフォーマットできない、または書き込みができない。	書き込み禁止スイッチが有効になっています	メディアの書き込み禁止スイッチのロックが解除されていることを確認してください。

[目次ページに戻る](#)